

巻 頭 言



群馬県知事 大澤 正明

世界を惹きつけるための群馬県国際戦略

日本、そして群馬県においても人口減少社会を迎え、今後は労働力人口の減少や国内市場の縮小が見込まれ、地域経済に影響を与えることが懸念されます。その一方で、経済活動のグローバル化が進展し、海外市場の需要の取り込みや、海外からの誘客による地域活性化が注目されています。

群馬県では、国内外の情勢変化を踏まえ、海外に目を向けた施策によって県経済を活性化するための指針として、平成 28 年 4 月から 4 年間で推進期間とする「第 2 次群馬県国際戦略」を策定しました。

第 2 次国際戦略では、東アジアへの取り組みを継続しながら、ベトナムなど経済成長の著しい ASEAN 諸国に対し、戦略の 3 本柱である「観光誘客の促進」や「農畜産物など県産品の販路拡大」、「企業のビジネス展開の支援」を一層強化します。

東アジアにおいては、平成 25 年 4 月に群馬県上海事務所を開設し、本県からの進出企業や現地の県人会等と連携し、中国からの観光客誘致をはじめ、県産品の販路拡大支援のほか、県内企業の中国でのビジネス展開の支援などを行っています。

また、本県は台湾の彰化県・台中市・高雄市政府と経済分野における友好協力に関する協定を締結しています。平成 29 年 7 月には協定先地方政府を訪問し、今後の経済交流や観光交流について意見交換を行いました。

ASEAN 諸国においては、平成 28 年 2 月に県と経済団体が連携してベトナムを訪問し、同国政府と経済交流に関する覚書を締結しました。また、平成 29 年 2 月に再び同国を訪問し、現地で商談会を開催するなど経済交流事業を実施するとともに、同国政府との間でベトナム人技術者や技能実習生の育成・活用で包括的に連携するとの覚書に調印し、経済交流や人材交流の取り組みを進めています。

海外に向けて県産品の販路拡大を図るには、知名度とともにブランド力を高めていく必要があります。このため、日本の和牛として初めて EU への輸出を開始した上州和牛やこんにゃくなどを、情報発信力の高いヨーロッパで積極的に展開しています。

以上の取り組みに加え、我が国産業発展の象徴である世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を核に、市町村とも連携し、オール群馬で世界を惹きつける「GUNMA」ブランドを世界に発信していきたいと考えています。